

事業報告書

事業の実施状況報告

(1) 九頭竜川流域下水道運転管理業務受託事業

ア 「九頭竜川流域下水道運転管理業務」の受託契約（令和2年4月1日福井県）

対象施設 九頭竜川浄化センター、中継ポンプ場（竹田川、兵庫川、片川、芦原、春江、北潟）
幹線管渠

業務内容 施設の運転操作および保守点検
施設および設備の小規模補修
施設および設備の警備および清掃
汚泥の処理処分
水質および汚泥等の分析
流入水量の計測

イ 流入水量

区分	令和2年度	令和元年度	前年比
全体流入水量	18,034,698 ^{m³}	16,931,740 ^{m³}	6.5%増
1日平均水量	49,410 ^{m³}	46,262 ^{m³}	6.8%増

ウ 市別流入水量

	供用開始	令和2年度	令和元年度
福井市	昭和62年6月	3,027,999 ^{m³}	2,810,832 ^{m³}
あわら市	旧芦原町 昭和59年7月	2,487,648 ^{m³}	2,598,256 ^{m³}
	旧金津町 昭和60年10月	1,950,116 ^{m³}	1,886,612 ^{m³}
	計	4,437,764 ^{m³}	4,484,868 ^{m³}
坂井市	旧三国町 昭和57年7月	3,435,712 ^{m³}	3,088,477 ^{m³}
	旧春江町 昭和62年4月	3,028,249 ^{m³}	2,880,157 ^{m³}
	旧丸岡町 平成元年4月	2,862,865 ^{m³}	2,574,163 ^{m³}
	旧坂井町 平成元年4月	1,242,109 ^{m³}	1,093,243 ^{m³}
	計	10,568,935 ^{m³}	9,636,040 ^{m³}
合計		18,034,698 ^{m³}	16,931,740 ^{m³}

(2) 下水道技術者養成事業

職員の下水道技術者養成および技術力の向上を図るため、計画的に専門研修への参加や日常業務を通じて下水道維持管理技術者の養成を行った。

① 参加した主な研修

- ・日本下水道協会の各種技術研修 7名
- ・各種団体の技術講習 5名

② 県内下水道従事者（官民）を対象に研修会を行った。

- ・研修名 下水道技術研修会
- ・開催日 令和2年12月1日
- ・場所 ユー・アイふくい 映像ホール
- ・研修内容 講演「下水道に関する労働災害の防止について」
福井県労働基準監督署
鍋島 康亮
- ・参加者数 25名

(3) 下水道の普及啓発事業

県民に下水道事業に対する認識や正しい知識を深めてもらうため、次の事業を行った。

ア 下水道パネル展の開催

9月10日の「下水道の日」にあわせて、県内市町・下水道関連団体と連携して、福井県立図書館、福井県庁1階ホールで下水道パネル展を行い、下水処理の仕組みや下水道の歴史を紹介しながら下水道の環境への役割や必要性を住民にPRした。

- ① 開催日 令和2年8月21日～令和2年9月4日
- ② 参加団体 福井県下水道協会加盟21団体
- ③ 配布物 パンフレット、キーホルダー、缶バッジ、うちわ

イ 施設見学者への下水道のしくみの説明と処理場内の案内

見学者にパンフレットを配布して下水道のしくみを説明し、浄化センター内の案内を行い、下水道知識の普及啓発を行った。

<令和2年度見学者>	学校関係	35名（1小学校	パンフレットの配布）
	一般	3名	
	官公庁	9名	
	計	47名	

なお、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、令和2年2月26日から浄化センターの見学受入の停止を行っている。

毎年7月に開催している「夏休み水の探検隊バスツアー」、9月に開催している「下水道の日の広報活動」について、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、開催を中止した。

ウ 浄化センター芝生広場の利用

下水道事業の普及啓発や浄化センターのイメージアップを図るため、浄化センター芝生広場を周辺地域住民の運動施設として利用していただいた。

① 利用期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

② のべ利用者数

6,039名

エ ホームページによる普及啓発

福井県下水道公社ホームページを通して、下水道知識の普及啓発および情報公開を行った。

URL <http://www.fukui-swc.jp/>

(4) 調査研究事業

- ・ 振動計を利用したポンプの効率的な修繕に関する調査研究を行った。

① 調査内容

当公社で行っている修繕の更なる効率化を図るために、振動計を用いて振動速度を測定し、測定値の変化に注目しながら分解整備の適正周期について考察した。